



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1132 2018年7月23日

ARIBの動き

2018 IEEE 5G World Forum における Worldwide 5G Industry Fora Session の概要

IEEE 5G World Forum の Worldwide 5G Industry Fora Session について、概要をお知らせします。

1. 日時： 2018年7月9日(月)
2. 場所： Hyatt Regency Santa Clara, Winchester Ballroom (アメリカ・サンタクララ)
3. 主催： IEEE
4. 後援： National Instruments (Diamond), Nokia, Facebook (以上 Silver),
ITRI (Industrial Technology Research Institute of Taiwan),
IEEE Standards Association, 他4社 (以上 Bronze)
5. 本会合 (2018 IEEE 5G World Forum) の目的：
5Gのためのグローバル・コラボレーションの一環として、IEEE主催、IEEE 5G イニシアチブ協賛で開催された IEEE 5G World Forum の第1回会合である。本会合では、「Be part of the global collaboration creating 5G for the benefit of society」をテーマに、産業界、学界及び研究者の専門家が一同に会してビジョンを交換すると共に、社会に利益をもたらす革新的な協力関係を促進するために、下記の様々なプログラムが設定された。
 - ・ Worldwide 5G Industry Fora Session
 - ・ Startup Forum (革新的な新規企業の紹介)
 - ・ Vertical Tracks (初期の 5G アプリケーション市場に焦点を当て、テーマは、メディアとエンターテインメント、インテリジェントな輸送、e-ヘルス/モバイルヘルス 及び IoT)
 - ・ Topical Tracks (5Gに関連する課題であるセキュリティとプライバシー、政策と規制、標準、オープン API、オープンソース、テストベッド、等を深掘り)
 - ・ Technical Paper Tracks
 - ・ Tutorials今回報告する Worldwide 5G Industry Fora Session では、講演者が自国の 5G 戦略と展開の進捗状況を概説し、講演者と参加者が情報・意見交換を通じて、5G のためのグローバルなコラボレーションとコンセンサスを実現することを目的とする。
6. 参加者 (Worldwide 5G Industry Fora Session) :
パネラーと聴講者で約 50 名、日本からは 4~5 名、当会からは佐藤参与が、講演者・パネラーとして参加した。

7. Worldwide 5G Industry Fora Session の概要

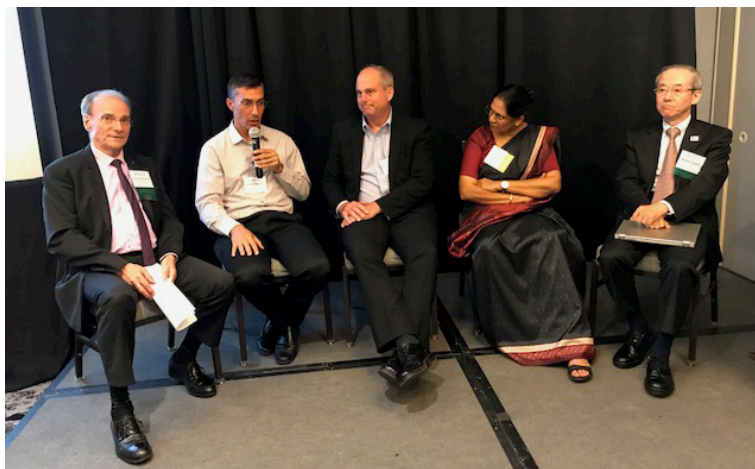
(1) 以下の3つのセッションが連続して行われた

- ① セッション1 (モデレータ: Latif Ladid 氏 (IEEE 5G World Forum 共同議長、IPv6 フォーラムの創設者・会長))
 - 基調講演: Susan Miller 女史 (ATIS 会長・CEO、3GPP PCG 議長)
 - 講演者: Heinz Bernold 氏 (Boston Consulting Group)、Pamela Kumar 女史 (TSDSI 事務局長)、Jean-Pierre Bienaime 氏 (5G-IA 事務局長)
- ② セッション2 (モデレータ: Jean-Pierre Bienaime 氏 (5G-IA 事務局長))
 - 講演者: Ashutosh Dutta 氏 (IEEE 5G Initiative 創設議長)、Chris Peason 氏 (5G Americas 会長)、Chih-Lin I 女史 (IMT-2020PG、China Mobile Research Institute)、Li-Chun Wang 氏 (国立交通大学教授、台湾)、Edward Tiedemann 氏 (Qualcomm)
- ③ セッション3 (モデレータ: Jean-Pierre Bienaime 氏 (5G-IA 事務局長))
 - 講演者: 佐藤孝平氏 (5GMF 事務局長)、Luciano Leonei Mendes 氏 (5G Brasil、Inatel)
 - パネルディスカッション: Luciano Leonei Mendes 氏 (5G Brasil)、Chris Peason 氏 (5G Americas)、Pamela Kumar 女史 (TSDSI)、佐藤氏 (5GMF)

(2) セッション3

当会の佐藤参与はセッション3で、「Strategy and Activities on 5G Development in Japan and 5GMF」と題してプレゼンテーションを行うと共に、パネルディスカッションに参加した。

他の講演者が日本の5G候補周波数に対して誤った認識をしていたため、本プレゼンテーションで正しく認識してもらった。また日本では、WRC-19での5G周波数特定の前の東京オリンピック・パラリンピックで5G商用化を行う予定であるとプレゼンテーションしたことに対して、3Gの時と同じように日本独自仕様で商用化をスタートするのかと質問があったため、総務省の方針とスケジュール並びに日本の移動通信事業者の戦略等を説明した。



セッション3 パネルディスカッション (左端がモデレータ)

今週の ARIB 内会合（7月23日～7月27日）

- 7月24日（火） 第159回 電波利用懇話会
- 7月25日（水） 第266回 技術委員会（通信・放送合同）
- 7月26日（木） 第108回 規格会議
- 7月26日（木） ITS 情報通信システム推進会議 企画部会（第40回）
同 DSRC プラットフォーム WG（第19回）

今週の国際会合（7月23日～7月27日）

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

「放送を巡る諸課題に関する検討会」 第二次取りまとめ(案)についての意見募集

【平成30年7月18日発表】

総務省は、第19回「放送を巡る諸課題に関する検討会」（座長：多賀谷一照 千葉大学名誉教授）において取りまとめられた第二次取りまとめ(案)について、平成30年7月19日(木)から同年8月20日(月)までの間、意見募集を行っています。

[経緯]

総務省では、近年の技術発展やブロードバンドの普及など視聴者を取り巻く環境変化等を踏まえ、放送に関する諸課題について検討を行うことを目的として、「放送を巡る諸課題に関する検討会」を開催しています。

同検討会では、平成28年9月に、「新サービスの展開」、「地域に必要な情報流通の確保」及び「新たな時代の公共放送」について取りまとめを行い、第一次取りまとめとして公表したところです。

さらに、その後、「新たな時代の公共放送」、「放送サービスの未来像を見据えた周波数の有効活用」及び「衛星放送の未来像」について検討を行い、今般、同検討会において、第二次取りまとめ(案)が取りまとめられましたので、当該取りまとめ(案)に関して意見を募集するものです。

詳細については、[【平成30年7月18日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp